

第 2 回岩国市総合計画検討会 議事概要

■ 開催日時・場所

令和 4 年 4 月 28 日 15 時 00 分～
岩国市役所 3 階 31・32 会議室

■ 次 第

- 1 開会
- 2 自己紹介（前回欠席者）
- 3 座長あいさつ
- 4 序論（総合計画の趣旨、岩国市の状況と課題）について
- 5 基本構想（目標とする将来像、施策の大綱）について
- 6 その他
- 7 閉会

議事録

1 開会

2 自己紹介（前回欠席者）

3 座長あいさつ

座長	10 月に第 1 回の会議を実施し、皆様から多様な意見をいただいた。本来であれば 1 月に会議を実施する予定であったが、コロナ禍により中止となった。スケジュールがタイトとなっており、9 月に計画のパブリックコメントを実施していかなければならない。本日は、基本構想について意見をいただくことになるが、現総合計画と比較をしながら、現在の時代に沿ったものとなっているか議論したい。短い時間となるが、効率的に議論を実施していきたい。
----	--

4 序論（総合計画の趣旨、岩国市の状況と課題）について

5 基本構想（目標とする将来像、施策の大綱）について

（事務局説明）

座長	広範囲な分野なので、効率的に議論を進めるために、先に疑問点や不明点、意見を受け付けし、その後、順番に御意見をいただく形にしたい。御自身の分野においての方向性、こういった内容で良いか、欠けている視点はないかといった意見をいただきたい。
----	--

	重点的にこれを書いてほしいという要望でも良い。皆様の御意見が次の会議で反映されるので、忌憚なき御意見をいただきたい。
参 加 者	自治会の加入率が低下している推移の資料があり、それに伴う協働の必要性という内容も盛り込まれている。自治会活動は重要だと思っている。加入率も課題となっているため、皆で自治会に入って活動してもらう仕組みをつくられたらと思う。
座 長	人と人をつなぐ部分で基盤になる話だと思う。この点にも配慮し作ってほしい。
参 加 者	自然に恵まれていると繰り返している所に出てくるが、大まかな印象を受ける。「水」が豊かというところが岩国市の強みだと思う。水はきれいで、飲料水にしてもおいしい。そこを売りに出すと良い。基本計画の方に出てくる記述かもしれないが、岩国の「水」を自慢とし、表に出すのが良いと思う。錦帯橋はみんな認識している。「水」はなかなか認識されていない。水道局も頑張っている。そこを一番言いたい。 また、人口が減少している。人口にこだわらない、少ないなら少ないなりのまちづくりを考えることもあるのではないかと。また、仕事がないということが人口減少につながっている。仕事があれば残るのではないかと。今はリモートで仕事ができる。仕事ができる態勢を整えば良いと思う。
座 長	「水」は間違いなくおいしい。「自然豊かな」と書くより、少し踏み込んで岩国らしさを出した方が良いのではないかと御指摘。また、人口減少については、全国的な大きな問題であり、コロナの影響で、地方で起業されリモートワークをする方もいらっしゃる。そういった機運を盛り上げていただきたいという貴重な御意見である。
参 加 者	人口や自治会の減少に伴い、団体の会員も年々減っている。岩国で暮らし、地域でつながり関わっていくということにより、多くの方が様々な場面に参加し、いろいろなことを学んでいただきたい。また、世帯構成において2人世帯も多いが、結婚しない子供を抱える高齢世帯がたくさんあり、数字だけでは見えない課題がある。人口減少を止めるのは容易なことではない。減らないのが一番であるが、それを逆手にとり、少人数ならではの満足度が上がるような取組ができればと思う。具体的に何かと言われると分からないが、数字に表れたものだけでなく、これからどうしていくかを研究し考えていかなければならないと思う。
座 長	「人とともに歩む」というキーワードもある。多様な暮らしの仕方があるので、こういった世帯でも幸せに暮らしていけるまちづくりが重要だという御指摘だったと思う。次回以降、充実した形でまとめていただきたい。
参 加 者	少しでも売上を上げていくためには、担い手確保・育成は重要だ。それと同時に、市全体の活力の基となるのはやはり人である。今、お金を使っているのは高齢者だ。高齢化を恐れるのではなく、高齢者と共存し合えるまちづくりが重要になると思う。また、人口の歯止めには、今以上に力を注いでほしい。
座 長	高齢化社会は止められない。高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりをしてほしい。高齢者の定義は65歳以上だが、65歳以上でも全く仕事をしないというわけではない。年代で切るというより、人々に生きがいを与え、最後まで働いていただける環境づくりが重要だと思う。

参 加 者	教育は充実しており、気にするところはないが、資料に、文化芸術を継承する担い手の確保、推進が必要との記述がある。新型コロナウイルス感染症が影響した３年間で、スポーツ、文化系の部活の大会維持が難しくなっている。また、生徒や指導者が減少し、部活動がなくなっていくという状況もある。岩国市は文化、スポーツ施設をつくられているが、その卵になるものがなくなりつつある。国では、2025 年にクラブ活動を地域に移す方向性を示しており、担任の先生の働き方改革もあり、保護者と地域が話す間もないまま進んでいる。議論するためにも、予測と課題の中で何かあると良い。
座 長	部活動の維持の問題など、2025 年に向けての対策などは実施しているのか。
事 務 局	教育の所管部署から聴いている。生徒、指導者が少なくなっており、維持が難しい。地域に少しずつ移行していくという状況も聴いているので、記載を検討したい。
参 加 者	新型コロナウイルス感染症の影響もある程度収まり、今年初めて大会がない状況に保護者が直面した。「今年から大会がないのか」という意見が出ている。発表する場もなく、指導する人もおらず、自然消滅みたいな形になっている。
座 長	「市の現状」において「教育・文化・生涯学習・スポーツ」分野の記載があるが、この中に今の御発言の内容を問題認識として記載してほしい。新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、大会等の実施ができるなど状況が戻るなら安堵するが、長期的に続く話であれば、看過できない話であり、計画にも反映をお願いしたい。
参 加 者	お示ししていただいているのは基本構想なので、どうしても抽象論になる。これから基本計画、実施計画の中にどこまでの具体案が出てくるかということと思うが、医療に関して、岩国の実際の状況が反映されていない。10 年前は年に 1,000 人の出生数があったが、4、5 年前には 800 人を切り、令和 3 年は 600 人を切る状況だと思う。また、出産可能な男女に非正規雇用である人が多いといった職の問題もある。結婚し、子供を産めるような環境となっていない。医療に関して言えば、地域の中核を担う医療機関における医者数が少ないという問題がある。医師にはとてつもない負担がかかっている。それをどのように解決していくか意見は出るが、医者の供給は極めて限られている。また、開業医は相当な高齢化が進んでいる。勤務医も同じ状況である。そのことが分かる文面に是非してほしい。 福祉・介護については、各介護施設のスタッフに聴くと、人材不足により大きな負担になっている。そういったことにも耳を傾けてほしい。医療、福祉関係は厳しい状況にあることを御認識いただきたい。全体としてあまりに記載が抽象的なので、どうにかならないかと思う。
座 長	「市の現状」における「子育て・健康」分野だと思うが、今、御指摘いただいた内容の記載はない。まずは、現状認識をしないといけないと思う。今のお話の内容について、この部分以外にどこか追記してもらいたいところがあるか？
参 加 者	今おっしゃったところで良いと思うが、もう少し突っ込んだ内容を加えていただくということが必要かと思う。
座 長	現状を認識した上で、子育て・健康分野の「主要課題」において、では、どうしなけ

	ればいけないのか踏み込んで記載する必要がある。次回以降、基本計画の中で、より具体的な話が出てくると思うので、そういったところに反映するよう工夫していただきたい。
参 加 者	イベント、スポーツ活動、また保健センターと連携し、健康スポーツという視点で必要な取組を実施している。イベントを実施する際に、足を運んでもらえるのは、子育て世帯と、仕事が落ち着いた高齢者の人が多い。運動公園の立地はあまり良くない。足を運ぼうと思っても、自家用車しか手段がない。以前はバスがあったが、現在はない。交通手段が確保できる方しか参加することができない。人を集めたいなら、交通網が整った集まりやすい場所を選定し、ものを建てる。箱物を建てる前にそういったところを考えた上で構想を立てる必要がある。人が集まるなら交通を考えるとといったように政策が後手に回っている。将来像を考え、本当に住みやすい岩国市をつくるためには、多少のお金はかかっても後々を考える構想が大事だ。
座 長	岩国市でも立地適正化計画をつくっている。必ずしも商業施設だけでなく、スポーツ施設など皆様が集まる場所を適切なところに誘導する、あるいはそういう場所を重点的に整備していく。そういう視点が必要ではないかという御意見で、私も賛同する。関連する計画と連携できるよう仕組みづくりをみせていただいた方がいいと思う。
参 加 者	岩国市がコンパクトシティを目指していくということだと思う。記載が散りばめられているが、順序、比重が分からない。たくさん記載し過ぎではないか。本当に実施するなら、見出しにしていくレベルだと思う。 また、岩国のまちを紹介する際に、国際性豊かということをしてPRしている。一般市民は国際性豊かな岩国に住んでいるという感覚はないと思う。学校教育では英語力の向上を目指すとともに、英語力の高い人材を育成するとあるが、岩国市民が皆英語を話せて、外国人と接するような市民を目指すとはまでは言わなくても良いのではないかな。 また、「多文化に触れられる国際交流」とあるが、アメリカ人である基地の関係者の方との共存が主なので、「多文化」というと、ほかにどういうものと交流しているのかとなりかねない。記述はそこそこで良いのではないかな。
参 加 者	国際交流に関しては、自治会において外国人と盆踊りをするなど、いろんな交流を図っているところもある。米軍の子供を含めて、さつまいも堀りを実施したりもしている。自治会が国際交流の一役を担うとはまでは言わないが、少しは貢献していると思う。
参 加 者	それはもちろん良いことだと思う。
座 長	計画が総花的となっているので、もし、コンパクトシティというのが中心の議題であるならば、それをタイトルにするくらいの大きなキーワードとして出す必要があるのではという御指摘で重要な御提案だと思う。いったい何を目指しているのかを重点的に出すことは重要だ。総合計画へ大きな課題を出すということは、重要な鍵になると思うので、ぜひ御検討いただきたい。国際性については、いろんな議論があると思うが、いずれにせよ基地があるということをポジティブにとらえて、活かしていくという視点が必要だと思う。
参 加 者	岩国に雇用がないということは印象に残っている。総論賛成という部分はある。DX

	化が薄いとは思った。記載しているデータは大事だが、より細かいデータがあると良いと思った。特に、産業・観光は一番に取り組みたいところで、2、3次産業がどんなものがあるのか知りたかった。コロナ禍においては、ズームをしたいと思っていた。また、日本は高齢者先進国であり、そうしたことを解決する産業が岩国にできればと思う。今は、リモートワークもすすんでおり、都会にいたくとも仕事ができる。
座 長	オンラインの会議は増加している。現在では当たり前の状況となっている。行政機関がDXと言いつつ、一番行政が遅れている状況だと思う。高齢者先進国の考えも賛成で、場所を問わず働く環境を整えていくことも大事だと思う。
参 加 者	今、岩国市の将来予測の中で、少子化や保育士の減少などの記載もされている。保育士の養成に携わっているので、少子化に歯止めをかけたいと考えている。また、子供を育てやすい環境という面で、こども庁の話もあるので、今後動きがあるかとは思っている。それから、道路事情の問題もある。田んぼが荒れてくる、放棄地が増える、空き家もそのままになっている。その対策がないかと思うが、現実問題として厳しい。東京から飛行機で1時間半と、確かに立地としてはいい。具体的な政策があればと思う。
座 長	岩国の大学で、子供を育てる人を育てているということは、大きな特色・特徴であり強みである。そういった強みも入れながら特徴を示すことは大事である。子供をつくって、育てて、教員もそこで教育するという循環効果があると良い。
参 加 者	事務局に、市民満足度調査の結果について、2つ質問と質問に対する背景を話す。満足度と重要度に関するグラフが表示されており、横軸が「満足度」、縦軸が「重要度」となっている。右上の方は満足度も高く、重要度も高い。私の職場でもこの手法でプライオリティの位置付け、指針として活用している。 質問事項の1つ目は、標本はどのように集められたのかを知りたい。タイトルには岩国市民満足度とあるので、不特定多数に配布し回収したのか。2つ目は、技術的な質問となるが、縦軸と横軸について、縦軸は最小値が0で、最大値が1.8。横軸は最小値が-0.4で、最大値が0.8。この横軸のマイナスの意味が分からない。
座 長	サンプル数がいくらあっても、どういう手法でサンプルをとったのか。また、縦軸と横軸の意味がなんだろうという御質問である。
事 務 局	市民満足度調査については、前回の調査の概要であれば、現在の後期基本計画の209頁に記載してあるので、参考にさせていただきたい。 調査対象：岩国市に住民登録がある満18歳以上の市民 調査方法：郵送配布、郵送回収及びインターネット回答 配布回収状況：配布数が3,000票、回収数が1,056票（回収率は35.2%）
事 務 局	本アンケートの評価は5段階評価で、「満足している」、「やや満足している」、「わからない」、「やや満足していない」、「満足していない」に分けており、「満足している」を2点「満足している」、「やや満足している」を1点、「わからない」を0点、「やや満足していない」をマイナス1点、「満足していない」をマイナス2点で計算をしている。その結果、「満足していない」が「満足している」状態を上回ればマイナスになる。
座 長	製本するときは、今のような御質問に対応できるよう、どこかに読み方を記載して

	いただきたい。このようなものをつくる時に一番重要なのは、数値がどう動いているかが大事だ。高止まりなのか、右下に下がってきているのか。時間軸の中で、クロスで見ると、いろいろな満足度の変化が分かるので、また御検討いただきたい。
参 加 者	満足度調査の数値に関して、2次と3次の計画で、満足度と重要度の最大と最小の数値の幅が違うのはなぜか。A、B、C、Dで分けている枠も範囲が違うので、2次と3次の比較が難しい。
事 務 局	重要度と満足度のそれぞれの平均値により、4つの範囲を区分しているためである。
参 加 者	この表だとどうしてこの項目がここに入ったのか分かりづらい。どこがどう動いたというのも見づらい。改善が必要ではないか。
座 長	基準は平均ではなく、満足度であれば0にすべきだ。「満足している」と「満足していない」の中間の部分が0ならば、そこが横軸の起点で、重要度は高いとどこかに標準的なものを引くのがいい。平均は毎年変わるので。少し整理をしていただきたい。
参 加 者	基本理念で「ともに歩む」という言葉が使われているが、印象が良い。岩国らしさを見せるものとして、他市との比較データが見せられると良い。
座 長	前は「つなぐ」で、今回は「ともに歩む」が今回のキーワードになるはずである。この辺りも後で御議論していただきたい。また、何かと比較をしないと見えづらいというところはあると思う。内容によっては記載しにくいこともあるが、山口県の中の岩国市がどういう位置付けにあるのか、10年前の岩国市と比べる等検討してほしい。
参 加 者	デジタルに対応していかなければならないということだと思うが、デジタルを使おうというところがメインに見える。デジタルはあくまで手法である。課題を解決するに当たって、デジタルだとかいう風になるといった表現になると良い。また、計画策定の中身を詰めていく段階において、2点ほど申し上げたい。1点目は、実際に施策を実施するときに、どういう状態であったかというデータと、どういう結果が出たかというデータをきちんと分析していくところを意識する必要がある。計画を取り組んでいく際に、データをしっかり持っておかないと、評価ができない。2点目は、総合計画は長いスパンだが、デジタルの分野は進展が早い上、早く取り組めることがメリットである。小さくつくって検証し、変えていくことが肝要だ。行政分野のデジタル化はこれからだ。行政の効率化は、具体的に中身を詰めていく段階で検討できればと思う。
参 加 者	行政の方々が使うデジタル化の概念は何か。何をもってデジタル化というのか。
参 加 者	紙の手続をデジタルで実施するというのが分かりやすい。ICT機器を使うことにより便利になる。デジタル化とDXの違いは何かという点もある。
参 加 者	注目されている背景は、行政の効率化なのか。
参 加 者	行政業務の観点で言えば、人口減少に伴う働き手の減少により、行政を担当する人材も不足している状況にあり、業務の効率化、住民サービスの質向上の観点からデジタル化は注目されている。
参 加 者	受け手である市民からすると、便利さにつながるので、効率化と便利さとが両方メリットがあるということか。

参 加 者	おっしゃる通りである。サービスを提供する側から言えば、効率化になり、市民の方々から見ると、便利さにつながる。
参 加 者	使う人と使えない人はいる。ハイブリットでまずは実施していかないといけない。
座 長	新しい言葉も含めて、10 年前には議論していなかった。今回は大きな目玉の一つではなかろうかと思う。2 点ほど皆様にお願ひがある。1 つ目は、将来像の大きなキャッチフレーズがまだ決まっていない。これを次回までに考えておいていただきたい。2 つ目は、基本理念が、前回は「つなぐ」という言葉から「ともに歩む」になっており、大きな違いである。前回は地域や人、インフラをつなぐという空間の概念が強い。今回は、時代や風土など時間軸を意識したものとなっている。この趣旨があっているか皆様と共有したいので、次回御意見を伺いたい。
参 加 者	デジタルは、時間を超えられるということが強みだ。デジタルが、過去・現在・未来を超え、市民の生活、豊かさに対して貢献できるといったことも記載できると良い。
座 長	D Xやデジタルだけでなく、新技術を活用したまちづくりをキーワードとし、基本目標の一つにあると良い。教育、産業、医療、全てのものについて新しい技術を使って次の世代に向かって歩み出すというような基本目標があつていいかと思う。課題認識の分野では触れられているが、基本目標までくると見えなくなっている。その特徴を前に出したい。
参 加 者	なかなか進んでいない事業がある。例えば、岩国・大竹道路と南バイパスをつなぐトンネルの話など、課題に対してほったらかしになっている。深刻な問題である。また、重要度が高く満足度が低い「中心市街地の活性化」がある。なぜ、突っ込んで記載しないのか。岩国駅の前に 20 階建てのビルを建て、中にクリニックを入れるプランがある。中心市街地は活性化については、とても大切な分野なので、盛り込んでいただきたい。
座 長	総合計画の中でもきちんと位置付けをし、強力に推し進めたい。総合計画とマッチするよう記載していただきたい。

6 その他

事 務 局	意見用紙を御用意している。追加して御意見があれば御提出いただければと思う。次回の検討会では、基本構想に加え、具体的な施策を整理した上で協議をお願いしたい。
座 長	今日いただいた御意見をできるだけ反映したい。場合によっては、皆様に事前にお話をさせていただくなど、次回までに、よりまとまった案ができるよう御協力をいただきたい。

7 閉会

以上